

「食のサステナビリティ シンポジウム 2026」に登壇しました

森永乳業グループは、コーポレートスローガン「かがやく“笑顔”のために」のもと、2023年に「ウェルビーイングステートメント」を策定・公表しました。これは、私たち(森永乳業グループ社員)が自身のウェルビーイングを実現し、人びと(お客さまを含む国内外の生活者)のウェルビーイングにどのように貢献するか、自律的に行動することを言語化したものです。

現在、「中期経営計画 2025-28」や「サステナビリティ中長期計画 2030(サスプラン 2030)」にもこの要素を組み込み、2030年度までに「社員エンゲージメントレーティング:A」「健康課題に配慮した商品の売上高(2021年度比):1.7倍」など、ウェルビーイングに関する取り組みを推進しています。

本取り組みの一環として、3月3日(火)に「日経SDGsフェス in 渋谷」(主催:株式会社日本経済新聞社、株式会社日経BP)内で行われた「食のサステナビリティ シンポジウム 2026」に登壇しました。

当日は「食品メーカーが推進するウェルビーイング経営」をテーマに、武蔵野大学ウェルビーイング学部長、慶應義塾大学名誉教授の前野 隆司氏と、当社サステナビリティ推進部マネージャーの太田 康子がパネルディスカッションを行いました。前野氏による幸せの四つの因子の紹介のあと、太田からは、ビフィズス菌をはじめとした健康に貢献する商品を通じたウェルビーイングに加え、将来世代と経営層との対話、ベトナムの給食支援プログラムなどについて話しました。パネルディスカッションでは、ブランドの価値を上げることが、どのようにウェルビーイングに繋がるのか、食品メーカーへ期待する多様なセクターとの繋がりなどについて、活発な議論が行われました。



パネルディスカッションの様子(前野 隆司氏(中央)、太田 康子(右))

今後も、企業活動全体の中でウェルビーイングの浸透を図り、実践していくことで、私たちや人びとのかかがやく“笑顔”の実現を目指してまいります。

<アーカイブ配信はこちら>

https://channel.nikkei.co.jp/2603_food/food260303_03.html

<当社登壇者 太田 康子>



森永乳業株式会社 サステナビリティ本部 サステナビリティ推進部 企画グループ マネージャー
2023年4月に入社し、サステナビリティ経営の社内外浸透を推進している。企業のサステナビリティコミュニティ CSR48 総監督として、サステナブル・ビジネス・マガジン「オルタナ」に CSR トピックスとコラムを連載。